

【同時記者発表】

国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会、中国地方建設記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、浜田記者クラブ、益田記者クラブ、江津記者クラブ

令和 7 年 5 月 2 2 日
中国地方整備局

高見政務官が総合水防演習に参加します

～高津川総合水防演習（5月24日）～

高見国土交通大臣政務官は、5月24日（土）に行われる「高津川総合水防演習」に参加します。

10時37分頃より、高見政務官のぶら下がり取材を行います。

総合水防演習は、水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、幅広い主体の参加による地域社会全体の防災意識の向上、実践的なシナリオによる災害対処能力のさらなる向上を図ることを目的に、水防月間の中核行事として毎年開催しているものです。

【演習の概要】

- 日 時：令和7年5月24日（土）9時30分 ～ 11時30分（予定）
- 場 所：島根県益田市高津 高津川左岸河川敷（鴨島大橋下流西側）
- 内 容：水防工法実施訓練、救助訓練 等
- 主 催：国土交通省中国地方整備局、島根県、益田市、津和野町、吉賀町
- 政務官ぶら下がり取材：会見時刻は10時37分頃を予定（水防工法巡視終了後5分間程度）
※ぶら下がり取材の詳細は、当日報道受付（別紙2参照）にて、お知らせします。
また、当日の進行状況により時間が前後する場合があります。

【取材にあたっての留意事項】

- 別紙1「取材申込書」参照



【問合せ先】

＜本件全般に関すること＞

水管理・国土保全局防災課災害対策室 箭内（やない）、徳盛（とくもり）

TEL 03-5253-8111（内線 35-822、35-824）、03-5253-8461（直通）

＜現地の取材に関すること＞

中国地方整備局河川部水災害対策センター 正木（まさき）、豊田（とよた）

TEL 082-221-9231（内線 3881、3882）、082-511-6240（直通）

中国地方整備局浜田河川国道事務所 若井（わかい）、川村（かわむら）

TEL 0855-22-3122（河川管理課）

取材申込書

■取材を希望される方は、事前にご登録をお願いします。

送信期限：令和7年5月23日(金)12:00まで

送信先：国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所河川管理課 川村（かわむら）、若月（わかつき）

E-mail：kawamura-y87fe@mlit.go.jp、wakatsuki-t87yv@mlit.go.jp

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

取材にあたっての留意事項について

1. 演習実施中は、会場カメラ撮り可。
2. 会場入場に際しては、誘導員の指示に従い一般駐車場をご利用ください。
3. 駐車券をメールにて送付しますので、印刷したものを車のフロントガラスのよく見えるところへ掲示ください。
4. 入場の際には、記者証又は社員証の提示を求めることがあります。
5. 報道受付にて受付をお願いします。
6. 演習会場では、社名入りの腕章を着用願います。
7. 演習に支障のない範囲で撮影取材が可能です。撮影場所など係員の指示があった場合には、その指示に従ってください。
8. 気象状況等により、会見等が取り止め又は時刻変更となる場合があります。
9. 取材にあたってご不明な点等ありましたら、5月23日(金)12:00までに記者発表資料に記載の問い合わせ先までご連絡をお願いします。

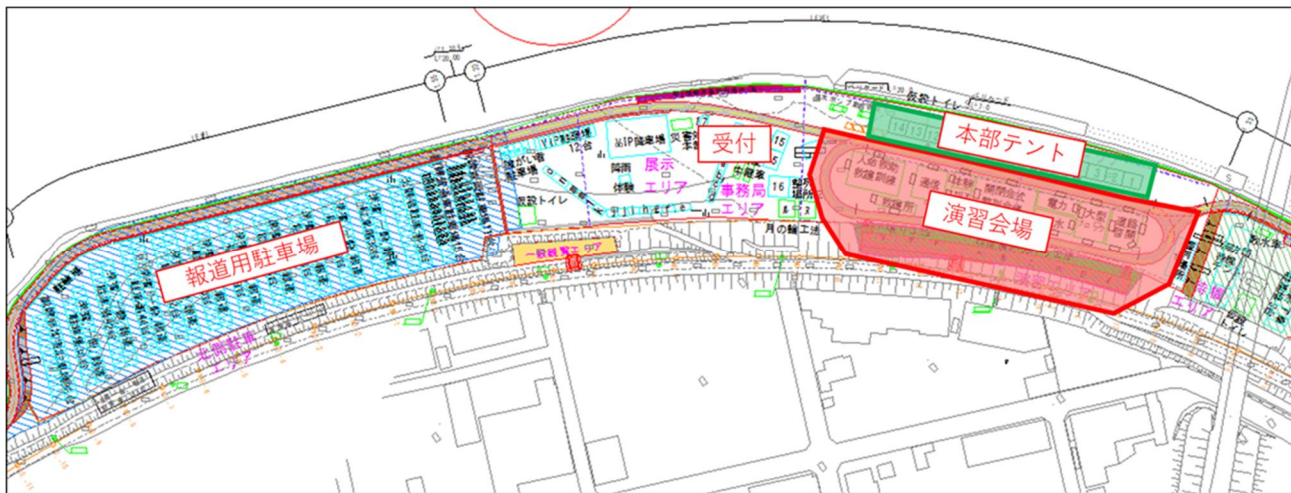
◆報道機関名
◆取材者
①（代表者）
②
③
連絡先（代表者の連絡先）
駐車券送付先メールアドレス

上記の「◆連絡先（代表者の連絡先）」には、取材当日に連絡可能な連絡先を記入してください。

会場位置図



■演習会場の駐車場への進入は、誘導員に従ってご入場ください。



詳細図

※報道受付で記帳の上、自社の「報道」腕章を着用していただきますよう、ご協力お願いいたします。



みず
洪水から守ろうみんなの地域

大雨による災害に備えて訓練を行います!
水防活動、救助訓練、インフラの応急復旧訓練
ヘリコプター、排水ポンプ車などが出動します
ぜひ、ご来場ください

令和7年度

高津川 総合水防演習



水防
シンボルマーク



高津川
シンボルマーク



流域治水
流域治水ロゴマーク

防災力向上!清流高津川の更なる進化

令和7年

5月24日 土

入場無料

雨天決行 (ただし洪水時は中止)

見学自由

9:30~11:30

当日、演習状況を
YouTubeで
LIVE配信します。



中国地方整備局 河川部 YouTube

検索

こちらの二次元コードから
LIVEをご覧ください▲

会場

島根県益田市高津

高津川左岸河川敷(鴨島大橋下流西側)



主催 国土交通省中国地方整備局、島根県、益田市、津和野町、吉賀町

協賛 全国水防管理団体連合会、公益社団法人日本河川協会、一般財団法人河川情報センター、一般社団法人中国建設弘済会

後援 一般社団法人建設広報協会

お問い合わせ



国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所 TEL.0855-22-2480(代表)

水防とは? 川が増水したときに、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が様々な技術で水害を未然に防止する活動を「水防活動」といいます。

令和7年度 高津川総合水防演習 3つの柱

柱その1

水防技術の 向上・伝承及び 水防団の士気高揚を図る

実際に即した水防工法訓練の実施

- 河川特性、地域特性、実際の水防活動の経験等を関係者で共有し、近年の水防団、水防活動の現状及び地域特性を踏まえた実践的な水防工法訓練を実施するなど、水防技術の向上や伝承につながるよう取り組みます。
- 日頃の訓練の成果の披露、水防団の功績の紹介・表彰などにより、水防団の士気高揚を図ります。



※本演習では消防団という。

柱その2

幅広い主体の 参加により地域社会全体の 防災意識の向上を図る

洪水時の情報収集や避難、 水防工法訓練など、間近で 見る・知る・体験

- 演習の準備・検討段階から、水防管理団体である市町村や水防団をはじめとした関係者が参画し、関係者間の連携を強めるとともに地域の災害のリスクや関係者それぞれの水防における役割等について理解が深まるよう取り組みます。
- 水防協力団体、自衛水防組織、企業や住民等、幅広い主体に対し、防災知識の普及を図り、防災意識が向上するよう取り組みます。



柱その3

実践的なシナリオ により災害対処能力の さらなる向上を図る

住民避難の課題を踏まえ、 防災機関と連携した実践的な訓練

- 大規模水害を想定した上で、近年の豪雨災害の発生形態や地域における出水の教訓などを踏まえるとともに、演習のポイントを明確化し、冗長にならないよう、メリハリのあるシナリオとします。
- 水害タイムラインも参考にし、あらゆる関係者がそれぞれの役割のもと連携したシナリオとします。
- 保有資機材を活用した訓練や、新技術・DX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に活用し水害に対する対処能力の向上を図ります。



5月24日(土) 演習内容

※時間は目安です。状況により前後致します。

前半(9:30～10:30)

後半(10:30～11:30)

主な演習項目

■開会式

▼大雨洪水警報・氾濫注意水位～避難判断水位

- 消防団による水防工法の実施
- 「高齢者等避難」の発表
- 避難誘導(要配慮者利用施設)
- 排水ポンプの操作

▼氾濫危険水位

- 「避難指示」の発表
- 国、自治体、メディアによる避難の呼びかけ
- 住民の避難訓練
- ホットライン※

▼大雨特別警報・緊急安全確保

- 「緊急安全確保」を発表

ホットラインとは、

国土交通省の事務所長及び気象台の台長より、河川水位・気象状況などの最新の情報を市町村長へ直接伝達し、市町村長が避難指示等の発令をする際の意思決定に役立ててもらうものです。

▼氾濫発生

- ヘリコプターによる被災状況調査
- 自衛隊派遣訓練
- 国土地理院による浸水推定図の作成
- 救護所開設、救護訓練、トリアージ訓練
- 地上での被災状況調査
- ライフライン復旧訓練(電気、通信、水道)
- 交通網の復旧訓練(道路啓閉)
- 緊急物資支援訓練
- 警察、消防、日本赤十字社による人命救助
- 海域における被害状況調査
- TEC-FORCE派遣訓練・特定緊急水防活動
- 河川内のヘリコプターによる要救助者救助訓練
- 閉会式



高津川総合水防演習に伴い、下記の時間帯前後に交通渋滞が発生する可能性があります。また、ヘリコプターによる騒音が発生します。演習会場周辺の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

会場：島根県益田市高津 高津川左岸河川敷（鴨島大橋下流西側）

日時：5月24日(土) 9:30～11:30 (本番) 5月17日(土) 9:30～11:30 (リハーサル)

注意事項

- 演習会場及びその周辺では、大型車両が往来するため危険な場所があります。係員の指示に従ってご来場・ご見学ください。
- お子様連れの方は特にお気をつけください。
- 土のうづくりやロープワークができる「水防工法体験」に参加を希望される方は、動きやすく汚れてもよい服装で早めにご来場いただき、「会場受付」でお申し込みください。申し込み受付時間／8:30～9:30
- 訓練内容については予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

展示コーナー

災害時に活躍する車両の展示や
大雨を体験できるコーナーもあります。
防災に関するパネル展なども行います。

参加機関 国土交通省中国地方整備局、島根県、益田市、津和野町、吉賀町、気象庁松江地方気象台、国土地理院中国地方測量部、境港湾・空港整備事務所、防衛省陸上自衛隊第13旅団、防衛省陸上自衛隊 第13偵察戦闘大隊、島根県警察本部、島根県警益田警察署、日本赤十字社島根県支部、島根県防災航空隊、益田広域消防本部、益田市建設部、益田市上下水道部、中国電力ネットワーク(株)山陰ネットワークセンター、日本放送協会松江放送局、西日本電信電話株式会社、(株)イズミ ゆめタウン益田、(一社)島根県建設業協会、(一社)島根県益田建設業協会、(公社)全国土木コンクリートブロック協会、(一社)日本自動車連盟島根支部、(一社)中国建設弘済会、島根県立石見高等看護学院、島根県立益田翔陽高等学校、地元自治会(高津地区)、要配慮者利用施設 社会福祉法人梅寿会 特別養護老人ホーム ますだハイツ、益田市消防団、津和野町消防団、吉賀町消防団

いざ!というときのために、水害への備えをしましょう。